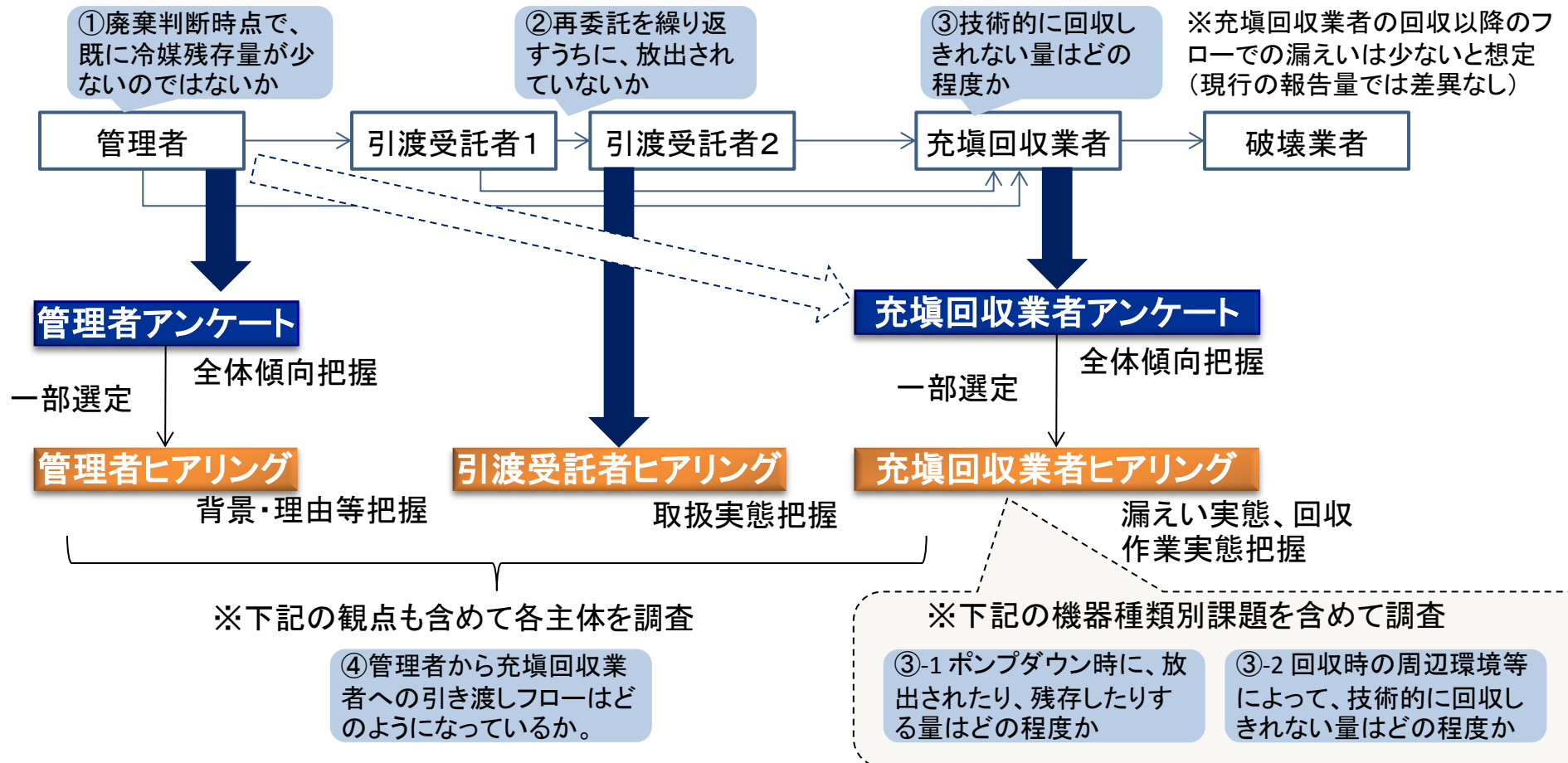


廃棄時回収率等実態調査について

(1) 課題と調査方法

- 業務用冷凍空調機器の廃棄断面におけるフローでの課題に応じて以下の調査を実施



実地調査(機器の廃棄及びフロン回収現場の実態把握+冷媒残存量の実測)

業務実態、漏えいの可能性を把握するため、ヒアリングに加えて実地調査、実測調査を実施

(2) 分析方法 ① 廃棄時充填率の検証と回収率低下要因の分析

- 調査方法を組み合わせることで、廃棄時回収率に関連する以下の要素について、その実態を把握する。

※結果を突合せて
整合性を確認

実地調査(機器の廃棄及びフロン回収現場の 実態把握+冷媒残存量の実測)

充填回収業者アンケートで、実測調査協力の意向を確認。協力可と回答した事業者に協力を依頼し、以下の量について、実測結果から算出する。

- 回収後冷媒残存量
- 廃棄機器充填総量

<充填回収業者>

- 回収開始時点で、機器に残存していた冷媒の量(廃棄機器充填総量)はどの程度か

<充填回収業者>

- 回収時の周辺環境によって、技術的に回収しきれない量(回収後冷媒残存量)はどの程度か

初期充填量
(機器に固有)



<管理者>

- 機器使用年数、廃棄理由、回収の委託先、回収量との関係を把握
⇒ **管理者アンケート**
- 初期充填量に比べて回収量が少ないケースについて、具体的な管理・廃棄の状況を把握 ⇒ **管理者ヒアリング**

<引渡受託者>

- 回収委託関係には、どのようなパターンがあるか。また、再委託の過程で放出されてしまう可能性があるのは、どのパターンか ⇒ **引渡受託者ヒアリング**

<充填回収業者>

- 回収量と回収時の状況(作業時間等)との組み合わせを把握
⇒ **充填回収業者アンケート**
- 初期充填量に比べて回収量が少ないケースについて、具体的な廃棄・回収の状況を把握 ⇒ **充填回収業者ヒアリング**

(2) 分析方法 ② 引渡フローの細分化

- 調査方法を組み合わせることで、引渡フローを廃棄等実施者及び充填回収業者の双方から細分化して把握し、比較分析する。

